

**製品名: CaMKII  $\alpha$  ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21312**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:54kD;Observed MW:54kD

**抗原情報**

遺伝子名	CAMK2A
別名	CAMKA KIAA0968
遺伝子 ID	815.0
SwissProt ID	Q9UQM7
免疫原	ヒト CaMKII の合成ペプチド

**背景**

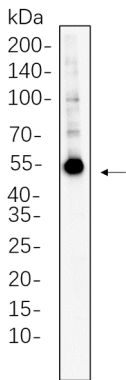
細胞局在: シナプス。この遺伝子産物は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼファミリーおよび Ca(2+)/カルモジュリン依存性プ

ロテインキナーゼサブファミリーに属する。カルシウムシグナル伝達は、グルタミン酸作動性シナプスの可塑性のいくつかの側面において重要である。このカルシウムカルモジュリン依存性プロテインキナーゼは、 $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\gamma$ 、 $\delta$ の4つの異なる鎖から構成される。この遺伝子によってコードされる $\alpha$ 鎖は、海馬の長期増強 (LTP) および空間学習に必須である。このタンパク質は、カルシウムカルモジュリン (CaM) 依存性活性に加えて、自己リン酸化を受けることで CaM 非依存性活性を示す。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが同定されている。[RefSeq 提供、2018年6月]

## 研究分野

-

## 画像データ



SH-SY5Y 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を CaMKII  $\alpha$  ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。